

豊能町公共施設再編整備に関するアンケート調査結果

アンケート調査概要

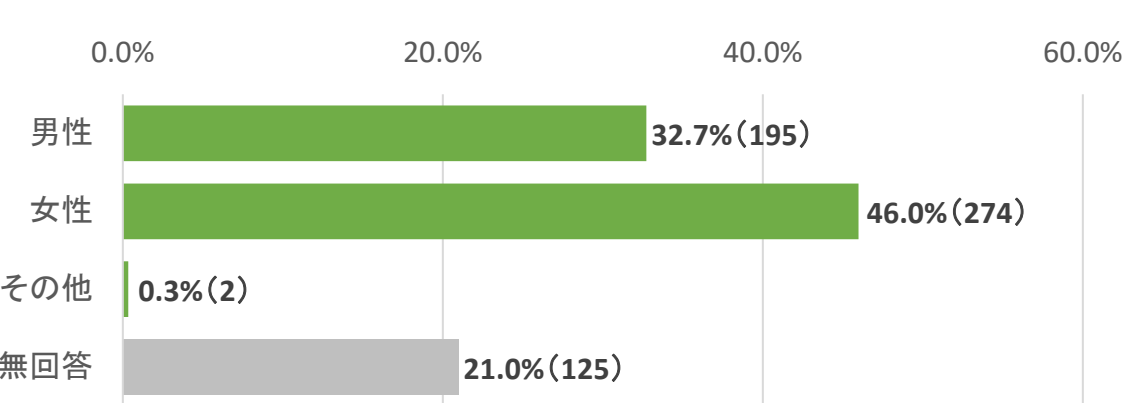
	豊能町公共施設再整備に関するアンケート調査（全体版）
目的	住民の生活実態や公共施設の利用状況、公共施設に対する意識を把握し、施設再編整備計画策定の基礎資料とすることを目的とする。
対象者	令和6年4月1日現在で豊能町にお住まいの住民
対象数	2,000人
回収数・率	596人（29.8%）
抽出方法	無作為抽出（既往アンケートにおける年齢別回収率を基に、年齢別配布数を比例配分）
調査方法	郵送配布・郵送回収もしくはWEBによる回収
調査期間	令和6年4月19日～5月10日

回答者は、全世代で、20年以上居住しており、2世代同居の方が多かった。

■回答者の性別・年齢・居住年数・家族構成

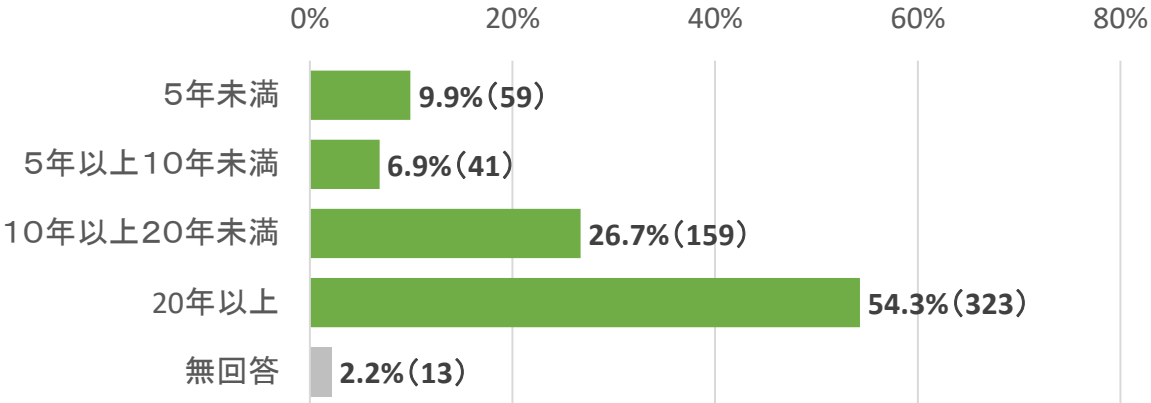
性 別

- ・回答者の性別は、「男性」が32.7%、「女性」が46.0%で女性の方が多かった。



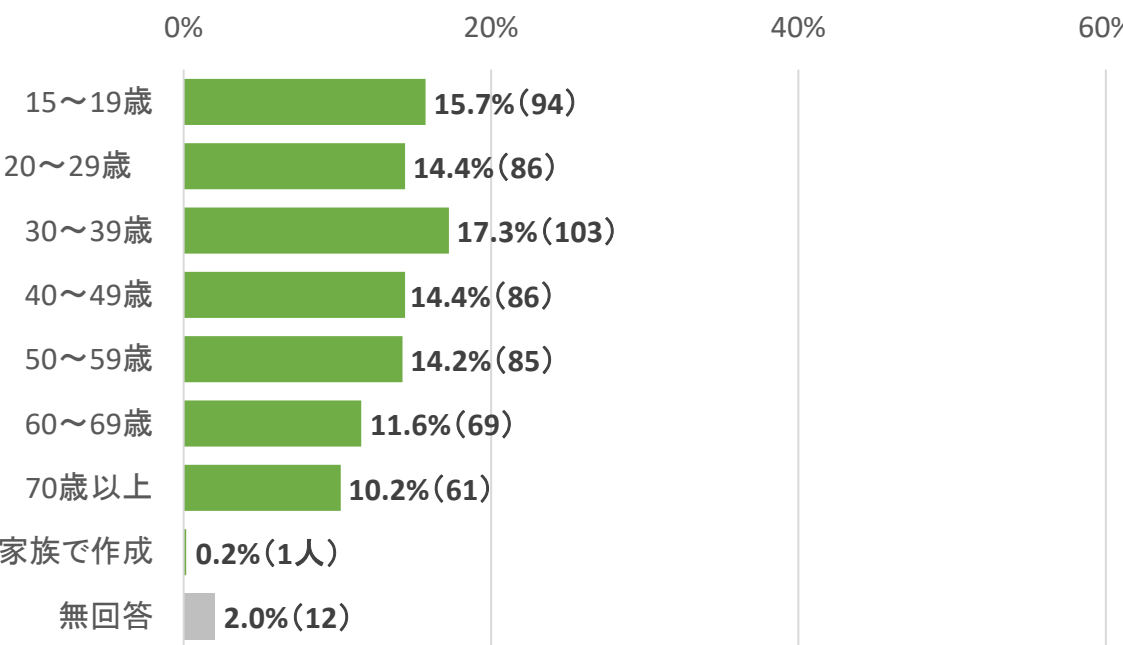
居住年数

- ・回答者の居住年数は、「20年以上」が54.3%と半数以上を占めていた。



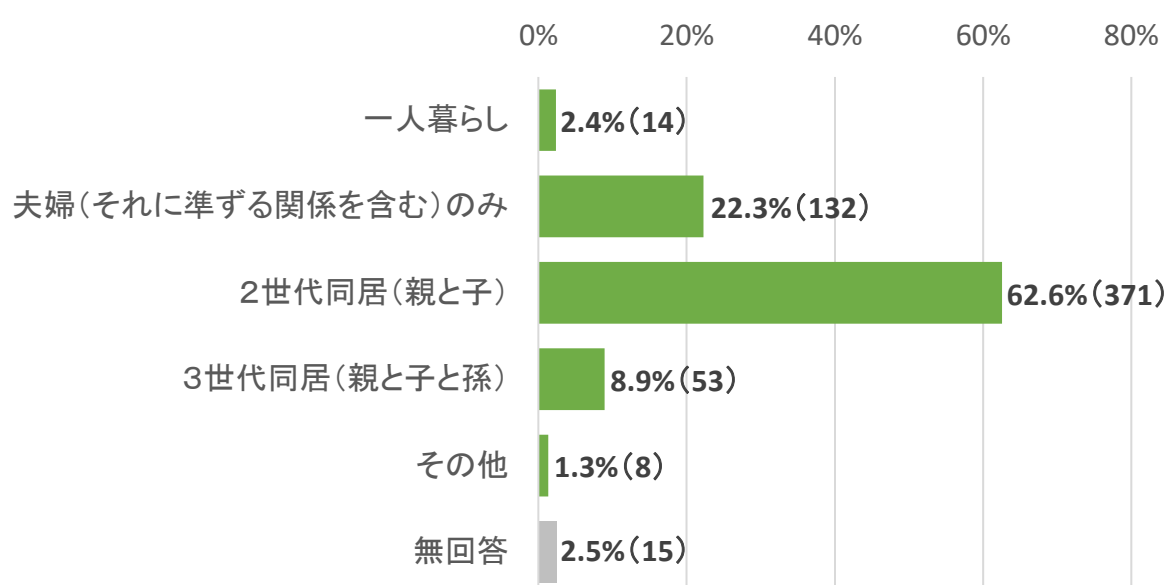
年 齢

- ・回答者の年齢は、「30～39歳以上」が17.3%と最も多く、次いで「15～19歳」が15.7%であった。



家族構成

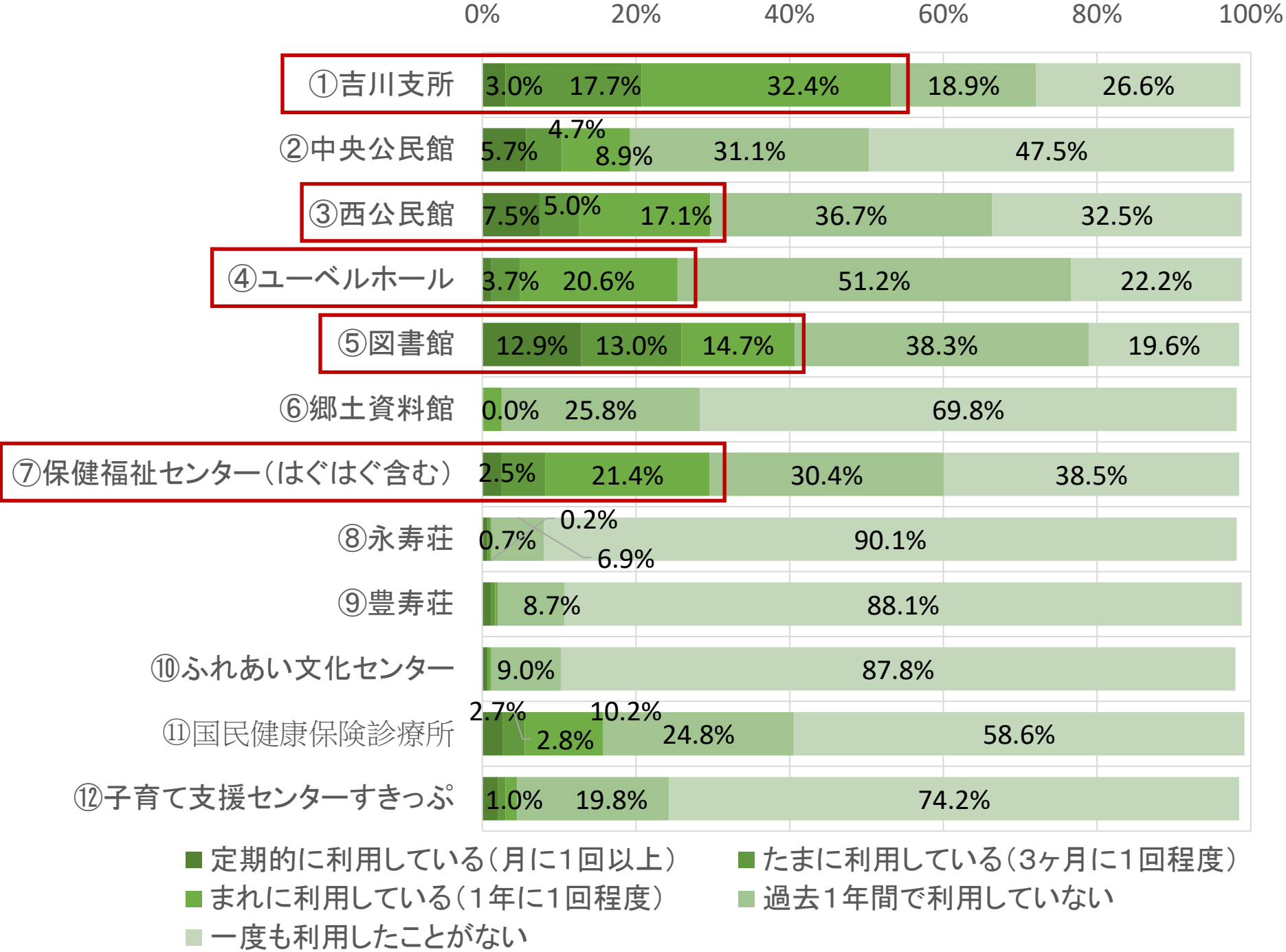
- ・回答者の家族構成は、「2世代同居（親と子）」が62.6%と最も多く、次いで「夫婦」が22.3%であった。



豊能町公共施設再編整備に関するアンケート調査（全体版）

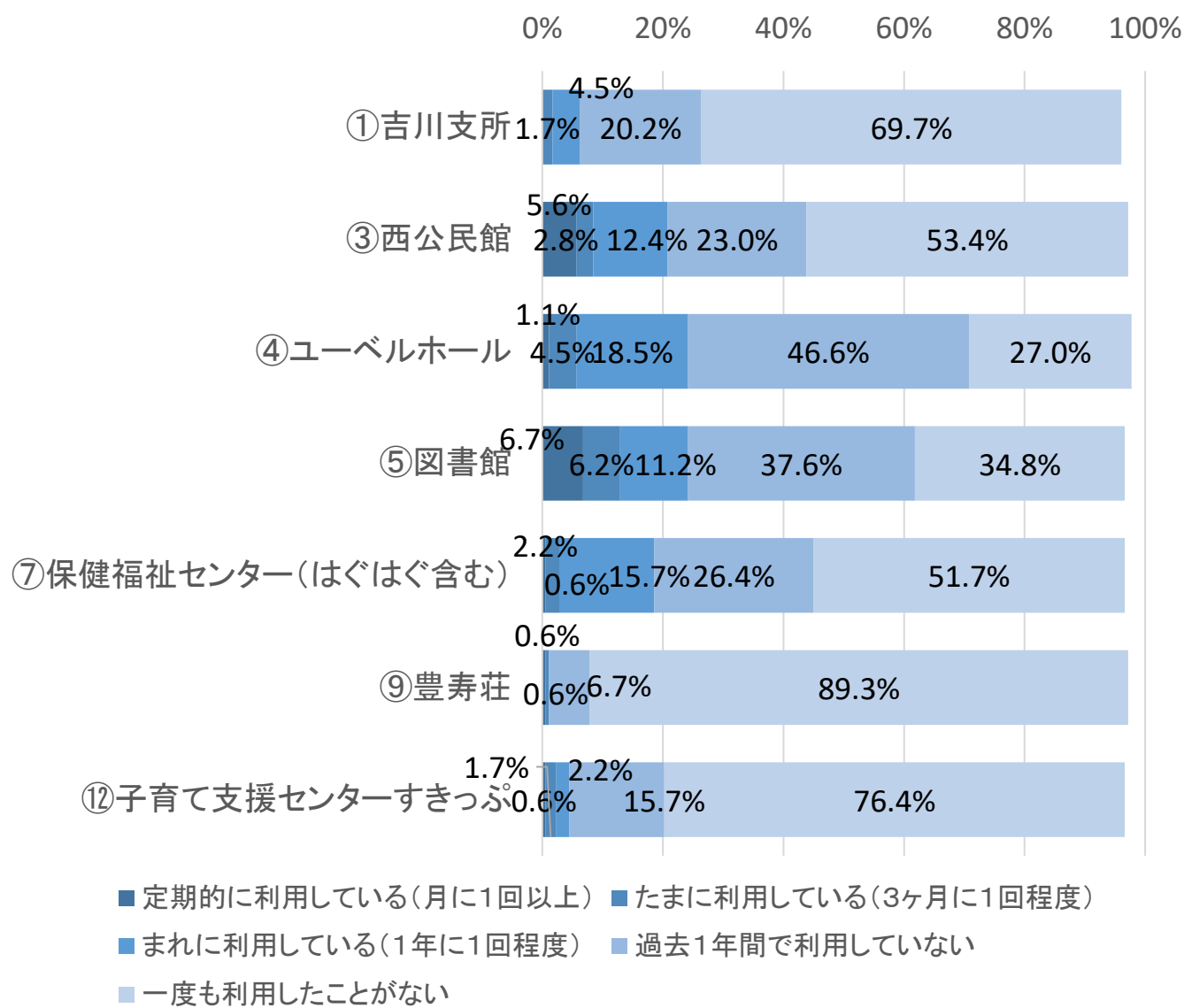
利用が多い施設は、「吉川支所」が最も多く、次いで「図書館」「保健福祉センター」「西公民館」「ユーベルホール」の順となっている。「図書館」は、定期的に利用している方が最も多い。

■過去 1 年間の公共施設の利用状況

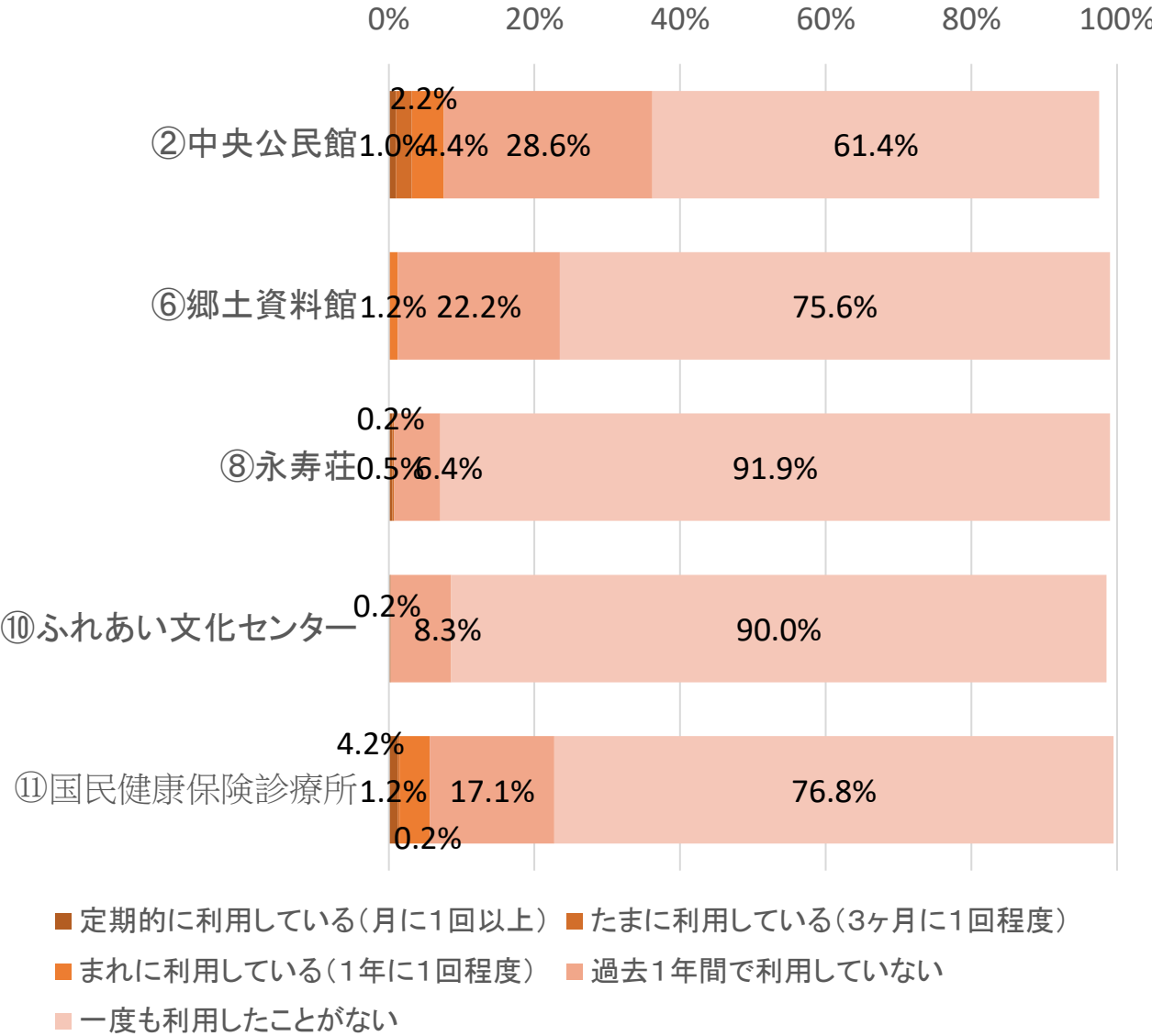


東地区及び西地区の居住者別の施設利用状況を見ると、東地区居住者は西地区施設の利用が多いが、西地区居住者の東地区施設の利用はあまり見られない。

東地区居住者の西地区施設利用状況



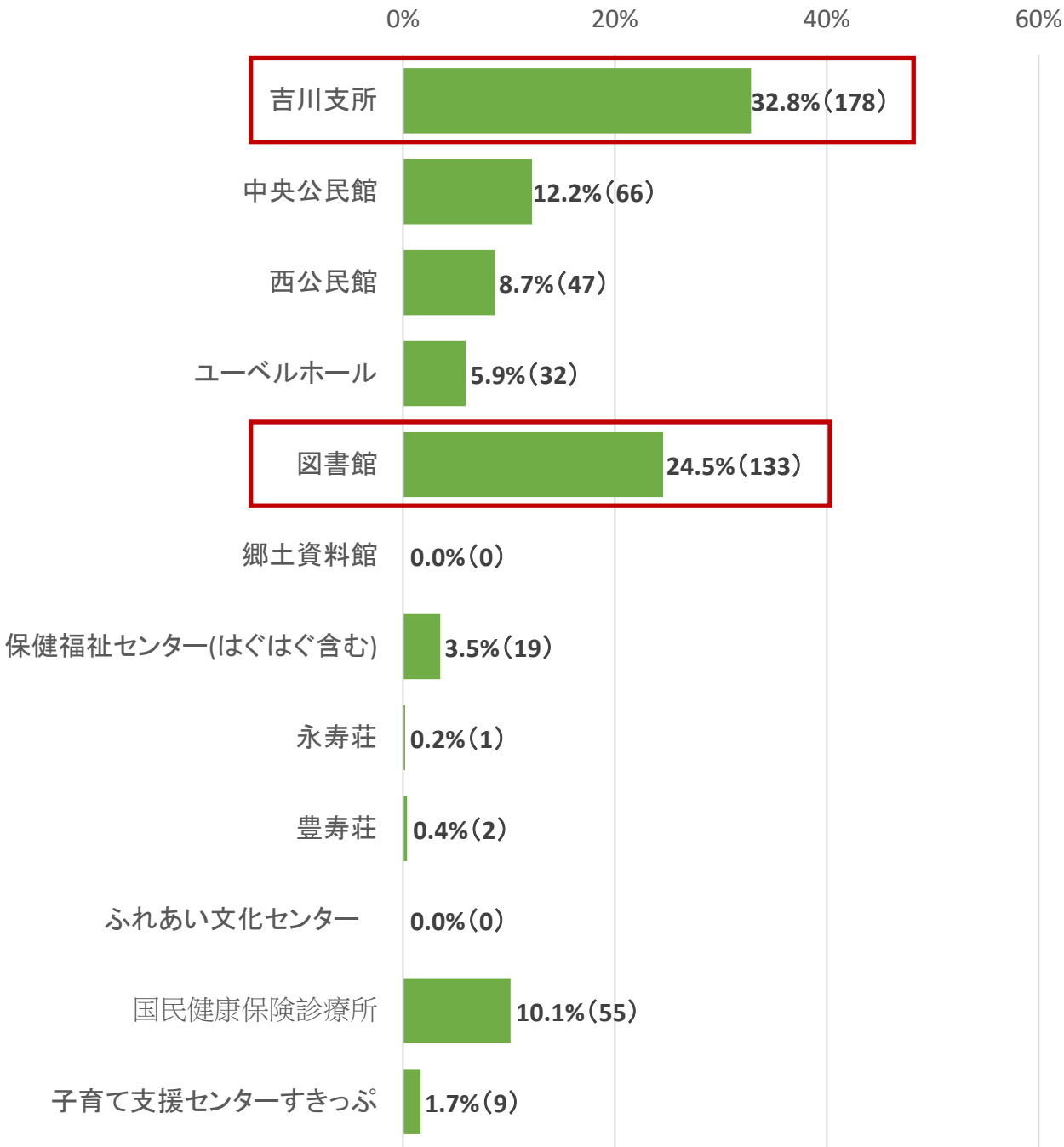
西地区居住者の東地区施設利用状況



最も利用する施設は、「吉川支所」「図書館」が多く、施設利用に際して、「施設が古い・狭い・使いにくい」「公共交通機関が利用しにくい」と感じている方が多かった。

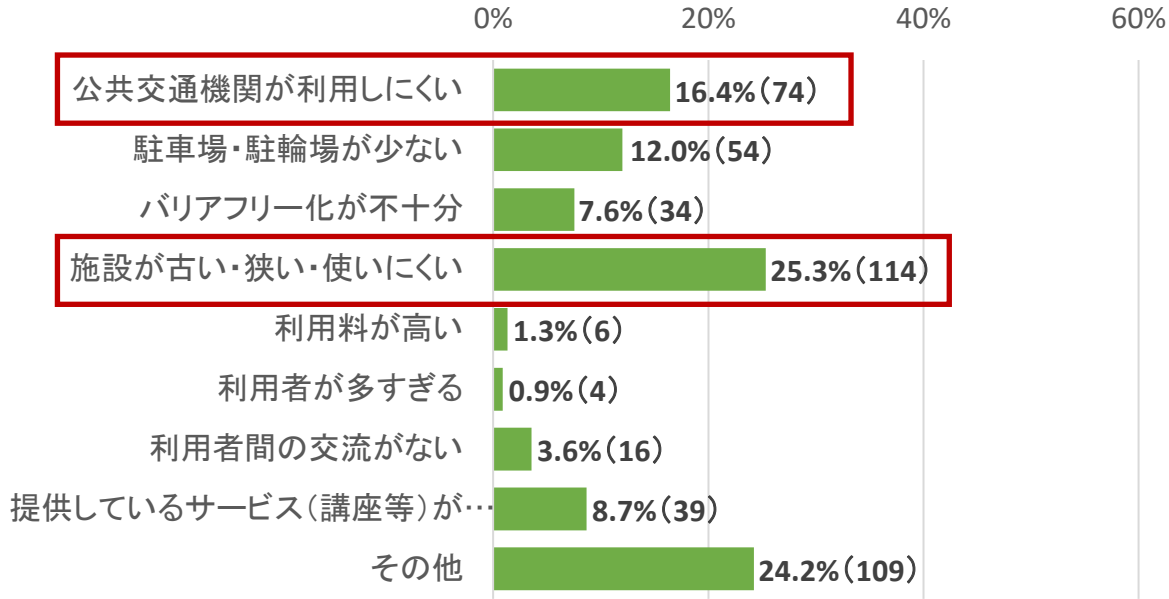
最も利用する施設

- ・「吉川支所」が32.8%で最も多く、次いで、「図書館」が24.5%であった。
- ・「郷土資料館」、「ふれあい文化センター」は0.0%でほとんど利用されていないことが分かった。



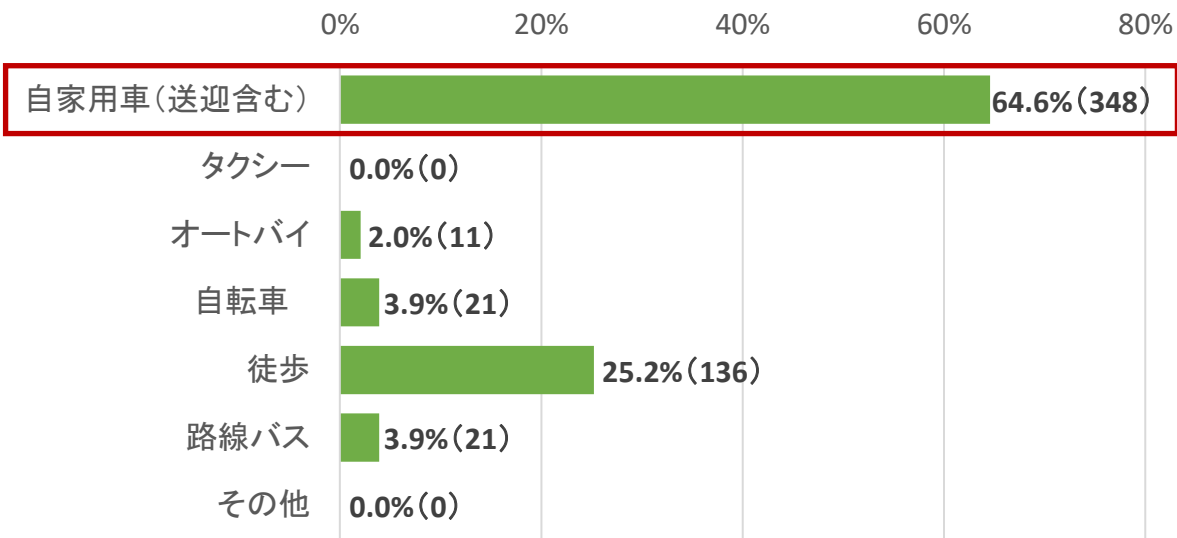
公共施設を利用した際の不便さ

- ・「建設が古い・狭い・使いにくい」が25.3%で最も多く、次いで、「公共交通機関が利用しにくい」が16.4%であった。
- ・また、「その他」として「開館時間が短い」「備品（本）が充実していない」等の意見が見られた。



公共施設を利用した際の交通手段

- ・「自家用車」が64.6%で最も多く、次いで、「徒歩」が25.2%であった。



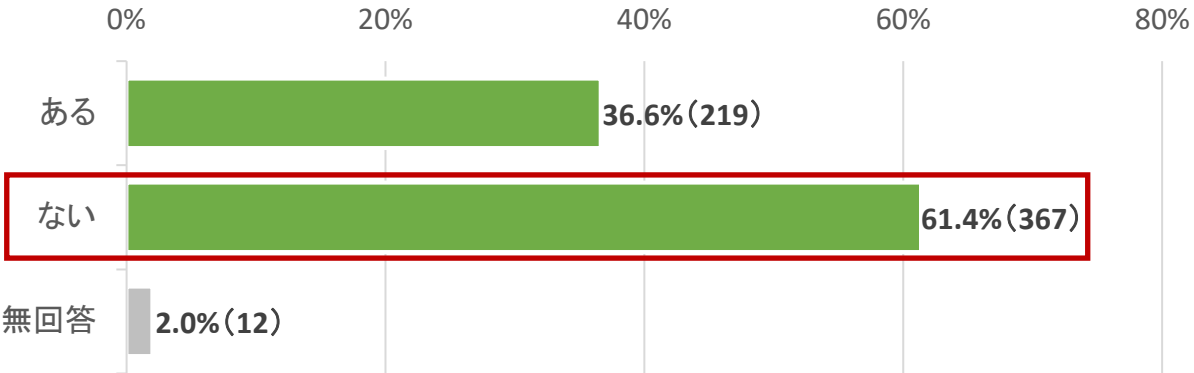
豊能町公共施設再編整備に関するアンケート調査（全体版）

約 6 割の方が自分の居場所と感じる場所がないと感じている。
第 3 の居場所がある方は、約 6 割が「町外」で「カフェ」「公共施設」「公園」などが多く、「週 1 日程度」利用している。

■ 自宅や職場（学校）以外での自分の居場所について

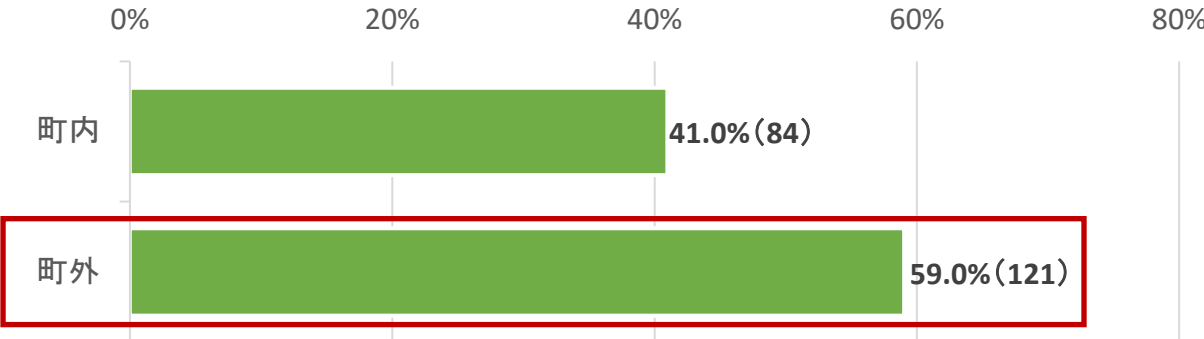
自分の居場所と感じる場所があるか

- 自分の居場所を感じる場所が「ある」が36.6%、「ない」が61.4%と自分の居場所がない方が約6割を占めていた。



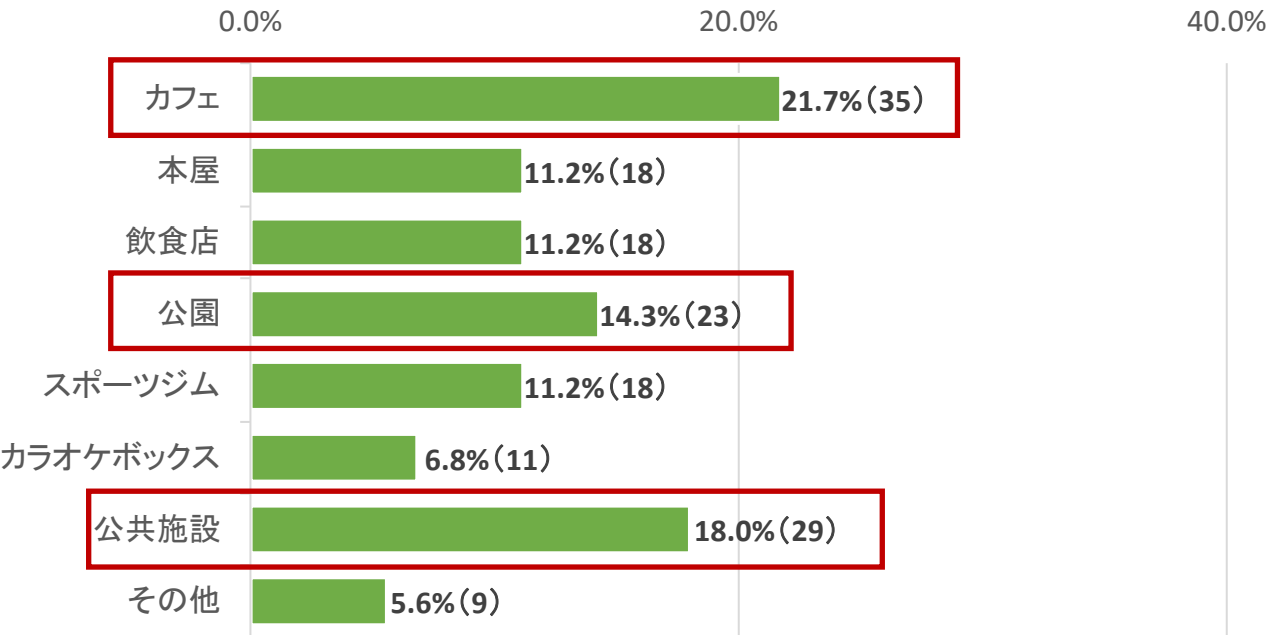
その場所はどこにあるか

- 自分の居場所と感じている場所は、「町内」が41.0%、「町外」が59.0%と自分の居場所は町外にあると感じている方が約6割を占めていた。



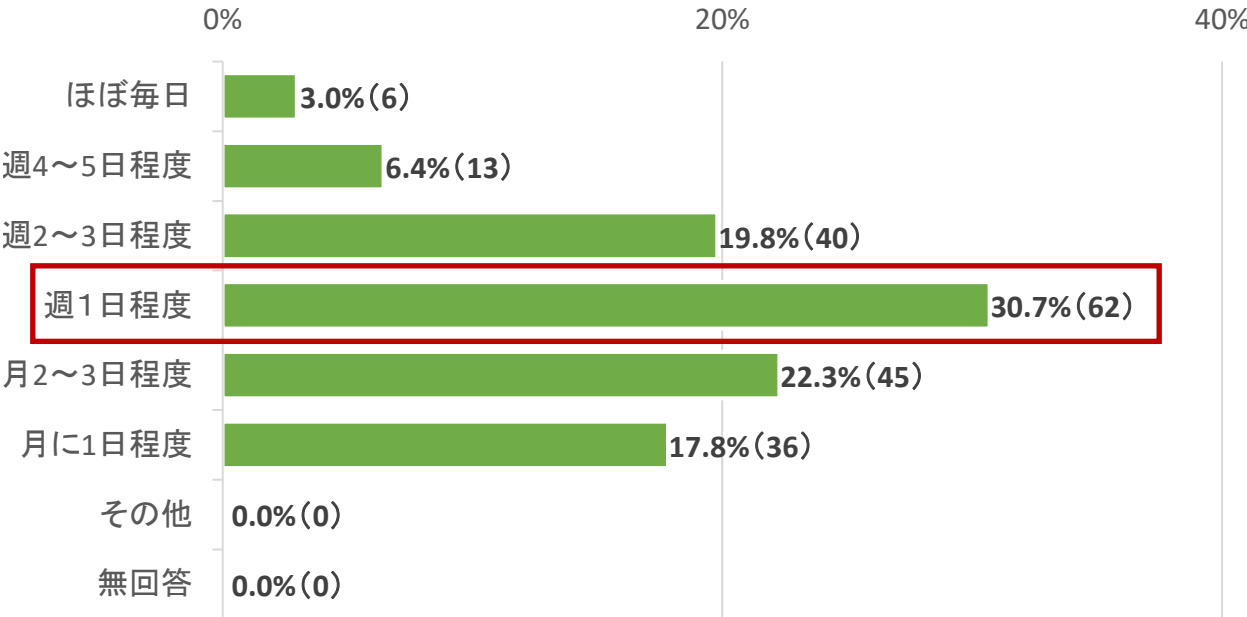
どのような場所か

- 自分の居場所を感じる場所は、カフェ、公共施設、公園であった。



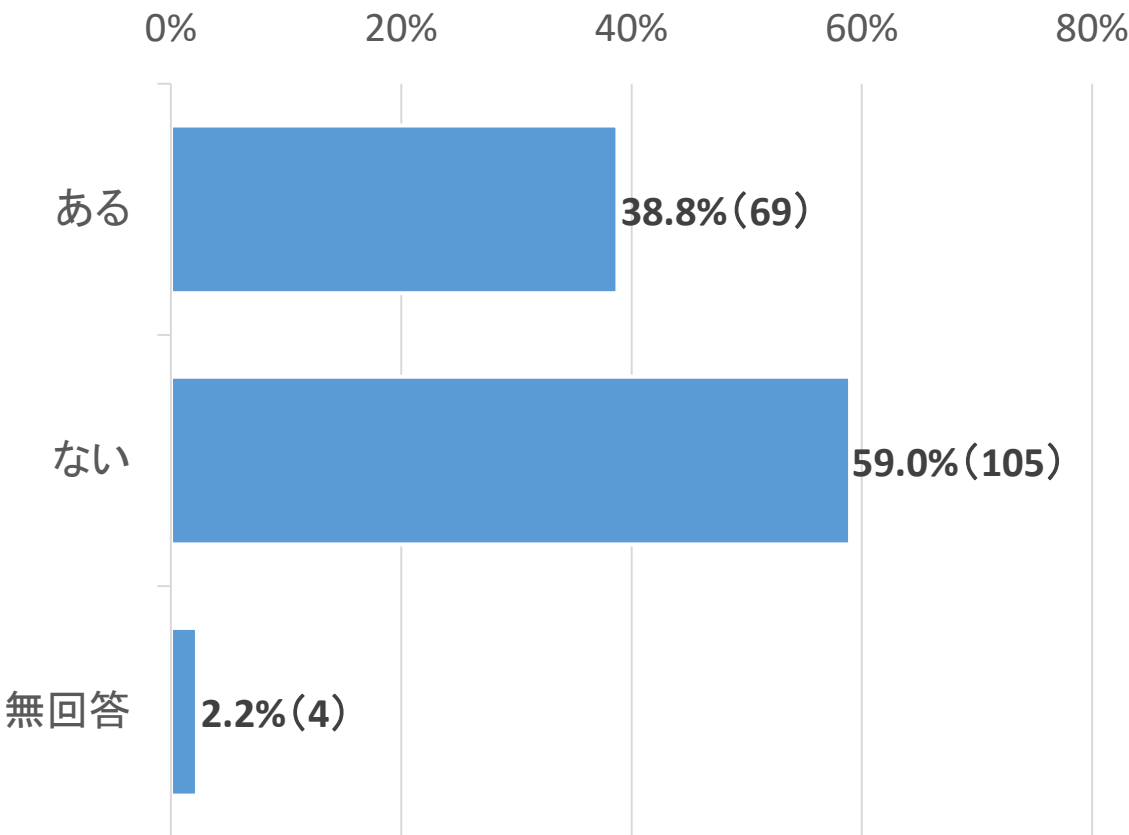
利用頻度

- 「週1日程度」が30.7%と最も高く、次いで、「月2～3日程度」が22.3%と利用は低頻度となっていた。

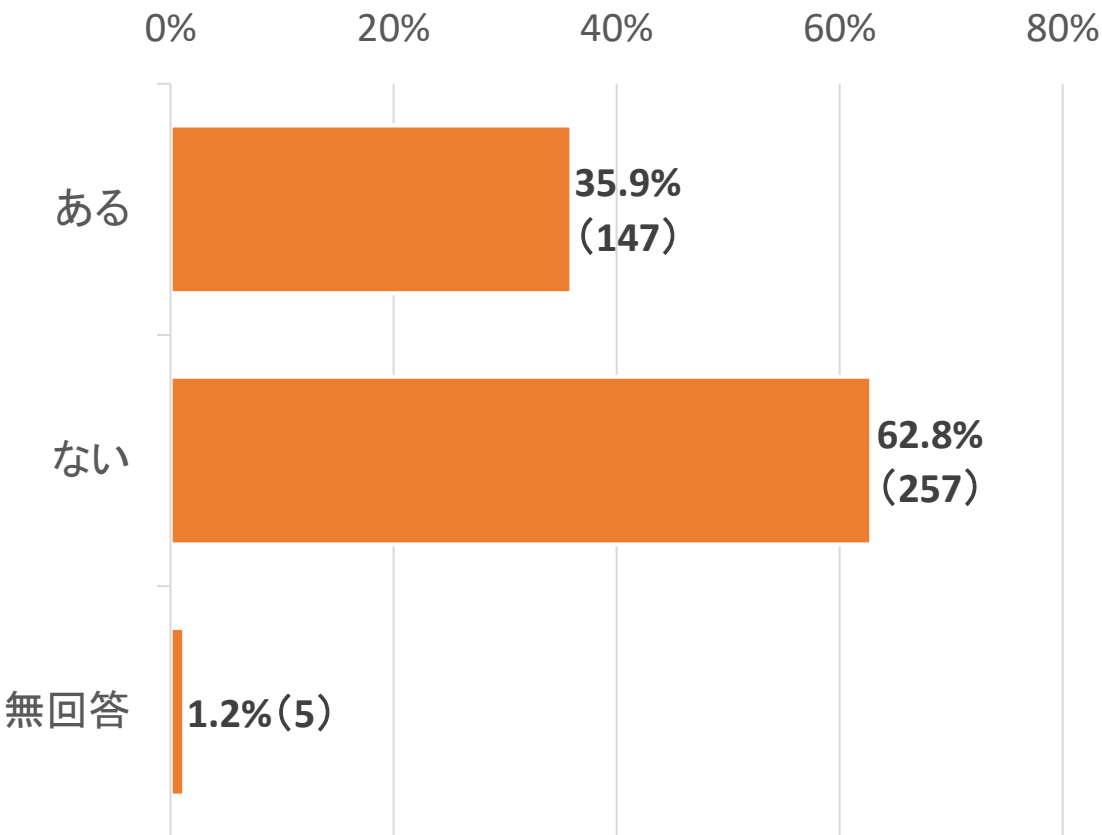


東地区、西地区あまり意識の差は見受けられない

自分の居場所とを感じる場所がありますか（東地区）



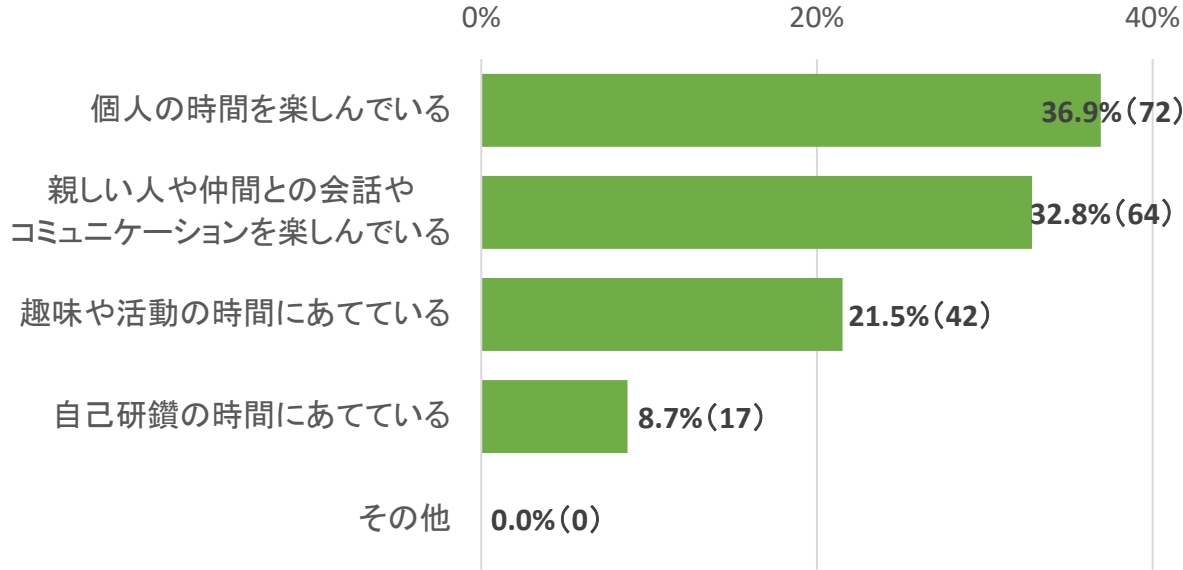
自分の居場所とを感じる場所があるますか（西地区）



約4割の方が第3の居場所を欲しいと感じている。

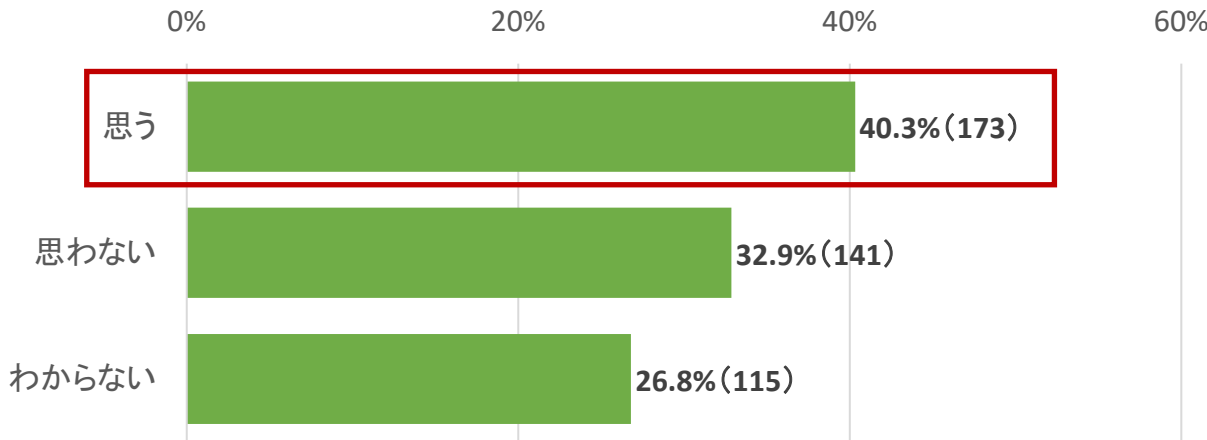
居場所でどのようなことをしているか

- ・「個人の時間を楽しんでいる」が36.9%、「親しい人や仲間との会話やコミュニケーションを楽しんでいる」が32.8%であった。



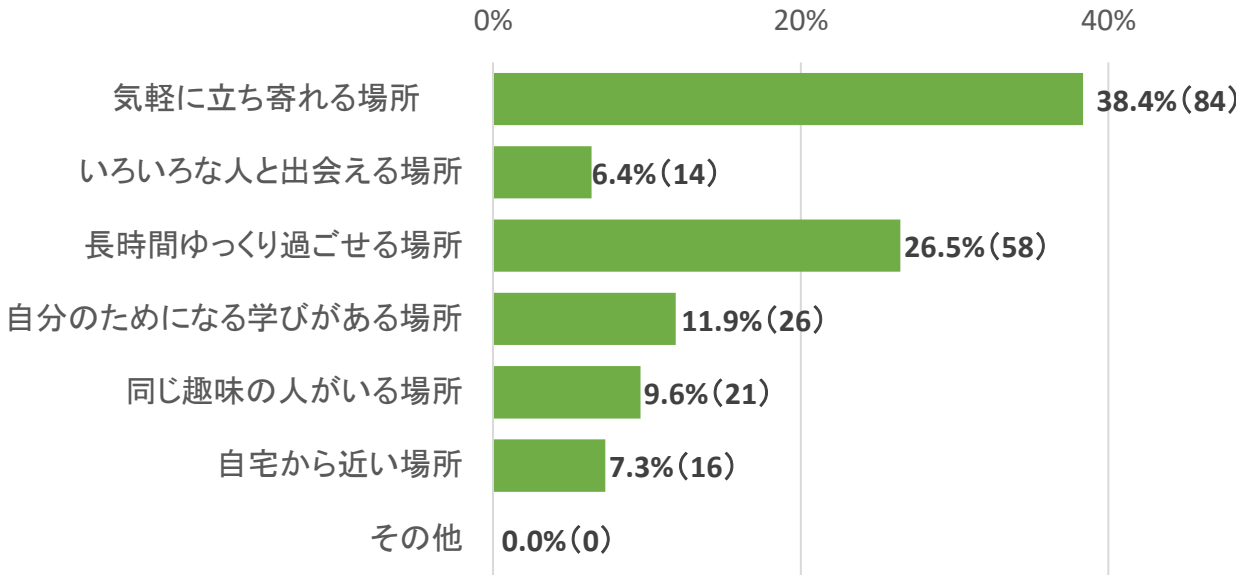
第3の居場所が欲しいか

- ・「思う」が40.3%、「思わない」が32.9%、「わからない」が26.8%であった。



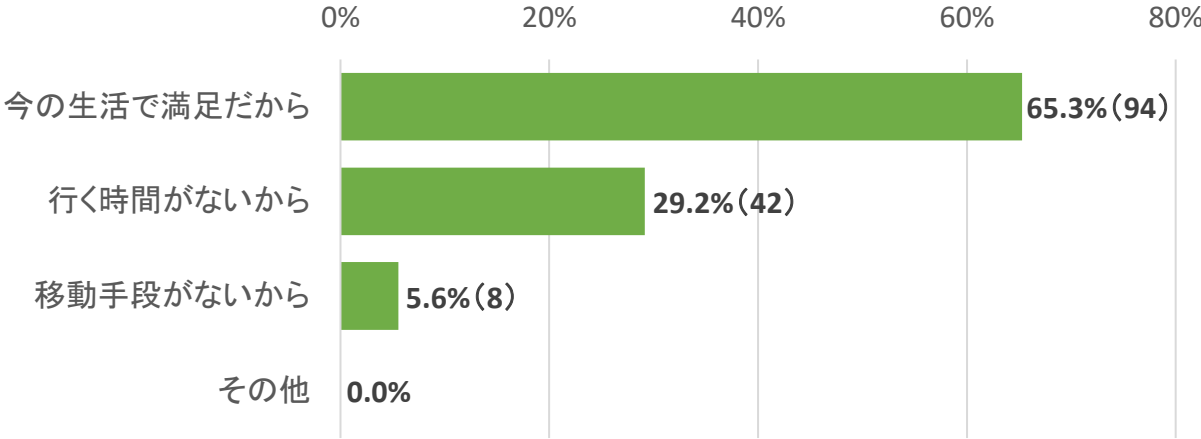
どんな場所か

- ・第3の居場所として、「気軽に立ち寄れる場所」が38.4%で最も多く、次いで、「長時間ゆっくり過ごせる場所」が26.5%であった。



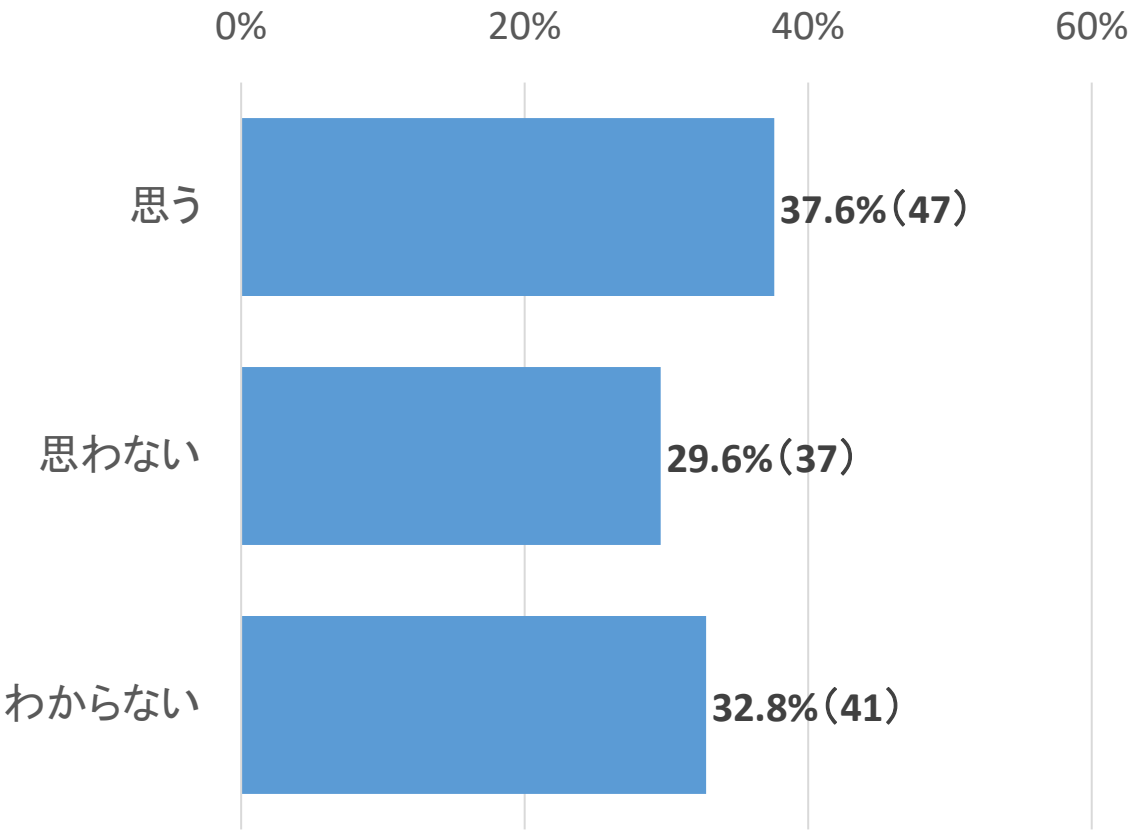
第3の居場所が欲しくない理由

- ・第3の居場所が欲しくない理由は、「今の生活で満足だから」が65.3%と約6割を占めていた。

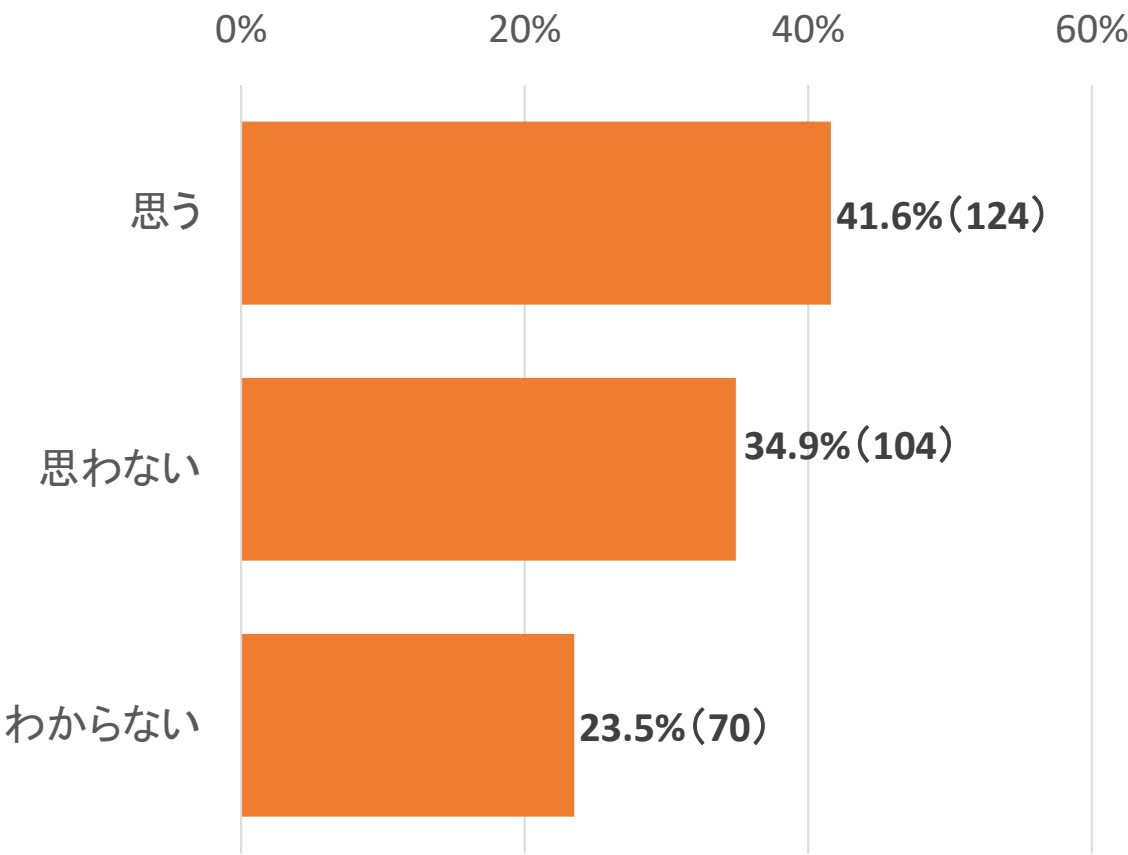


東地区、西地区あまり意識の差は見受けられない

第3の居場所が欲しいか（東地区）



第3の居場所が欲しいか（西地区）

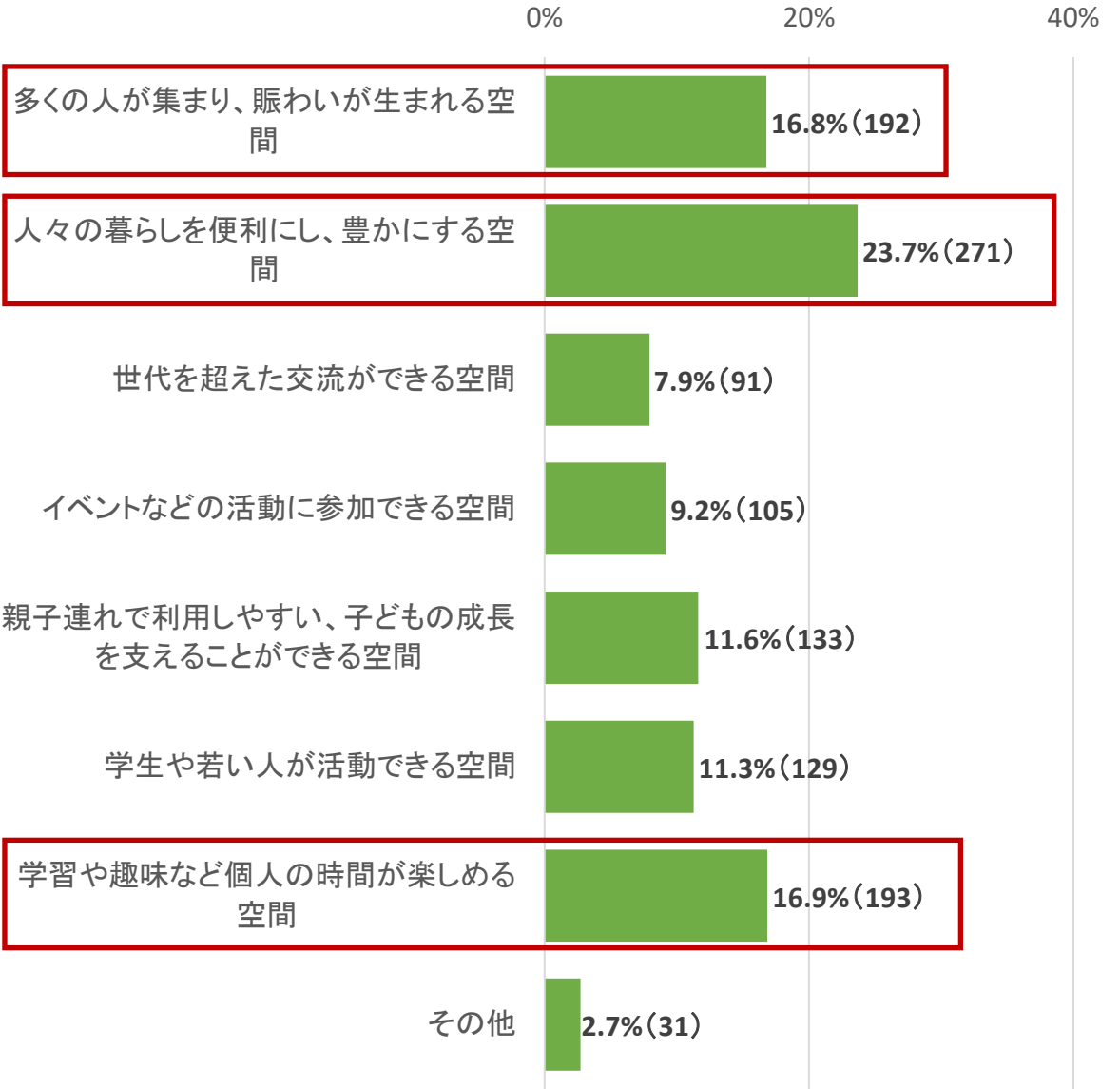


賑わいや人々の暮らしを便利に、豊かにする空間で災害機能や余裕を持った駐車スペース、周辺施設と連携した施設を希望する方が多かった。

■公共施設再整備（複合化施設）について

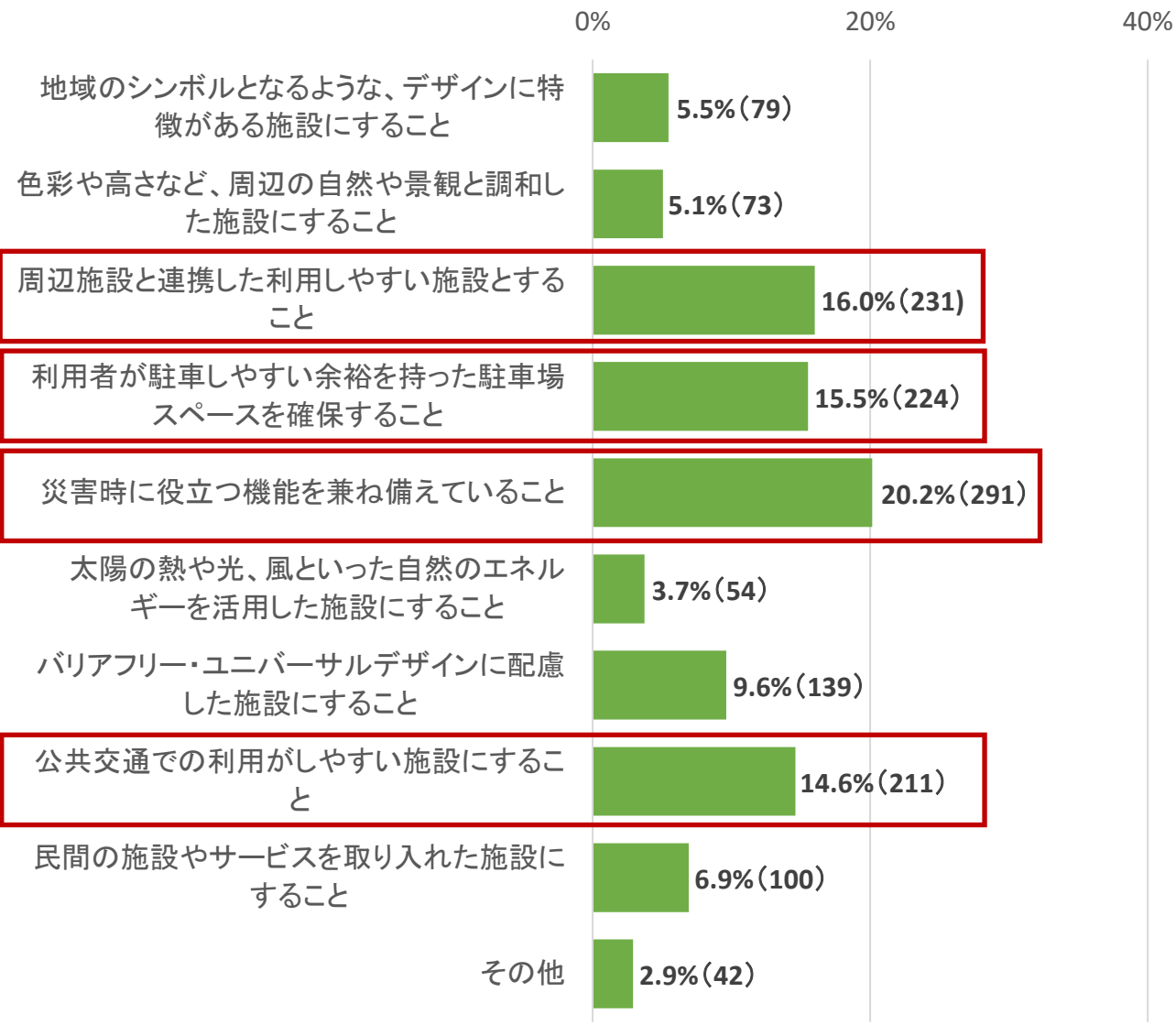
どのような空間や雰囲気になりたいか

- ・「人々の暮らしを便利にし、豊かにする空間」が23.7%で最も多く、次いで、「学習や趣味など個人の時間が楽しめる空間」が16.9%、「多くの人が集まり、賑わいが生まれる空間」が16.8%であった。



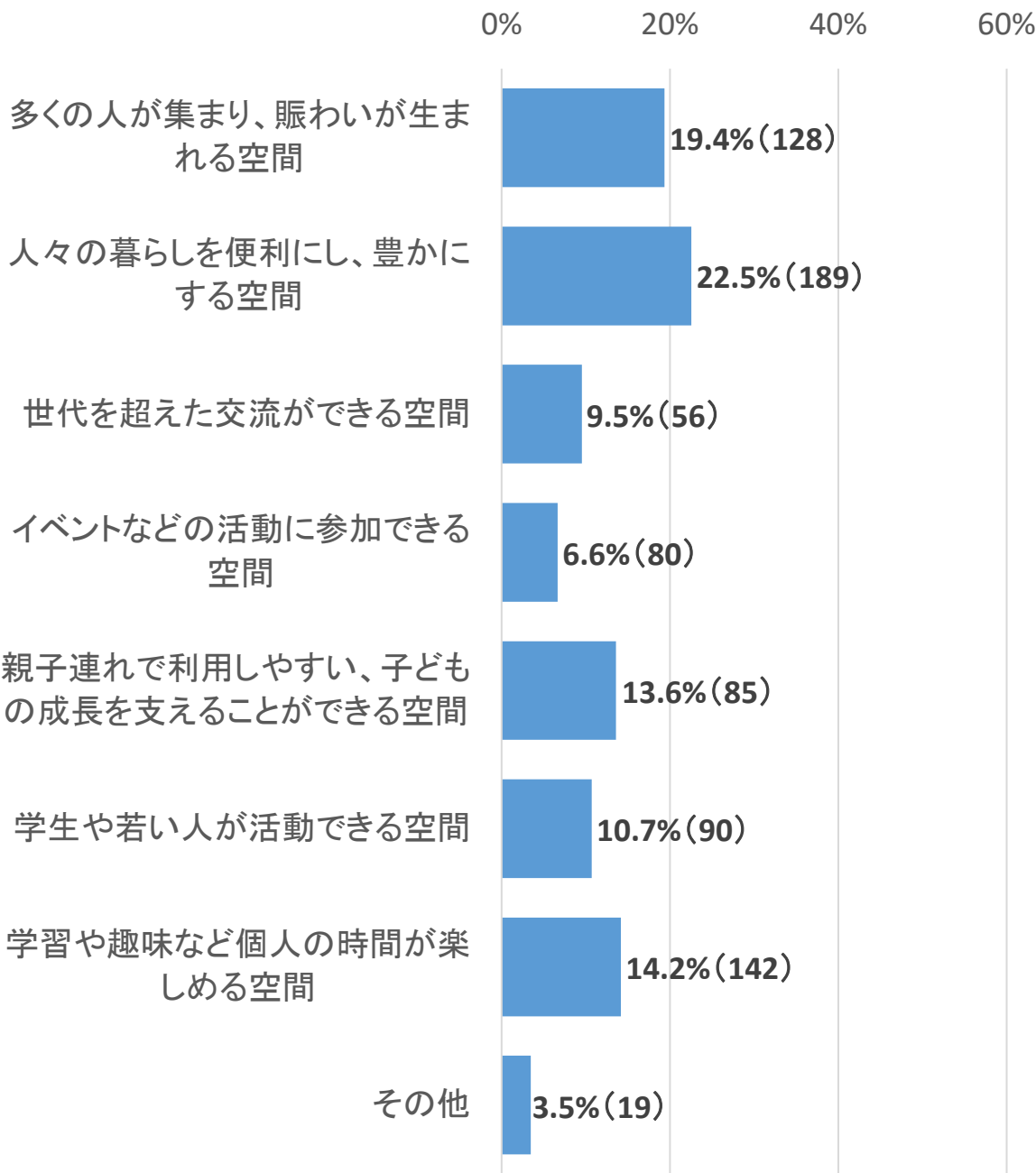
どのような工夫が必要か

- ・「災害時に役立つ機能を兼ね備えていること」が20.2%で最も多く、次いで、「周辺施設と連携した利用しやすい施設となること」が16.0%、「利用者が駐車しやすい余裕を持った駐車スペースを確保すること」が15.5%であった。

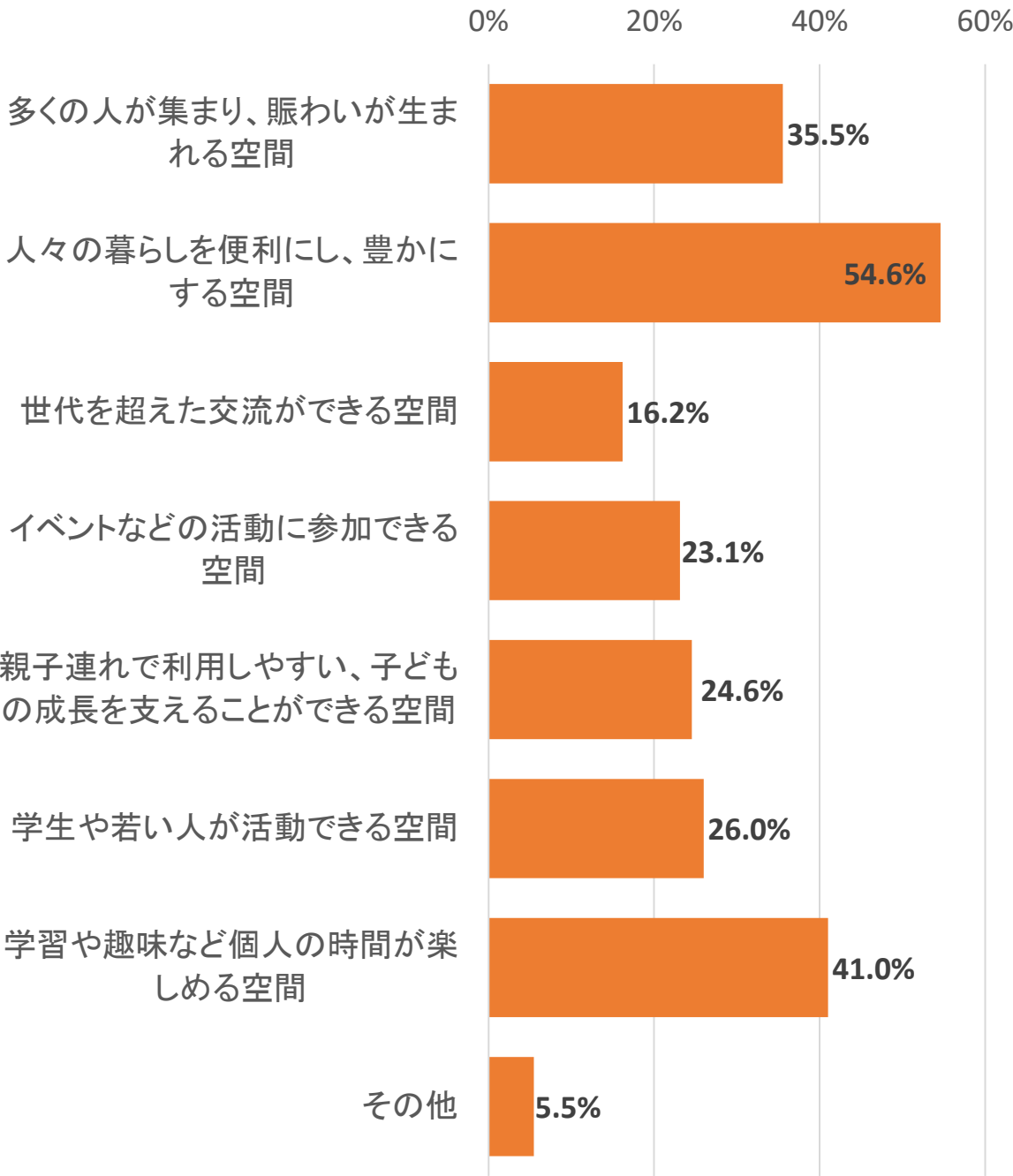


東地区、西地区あまり意識の差は見受けられない

複合化施設の空間イメージ（東地区）

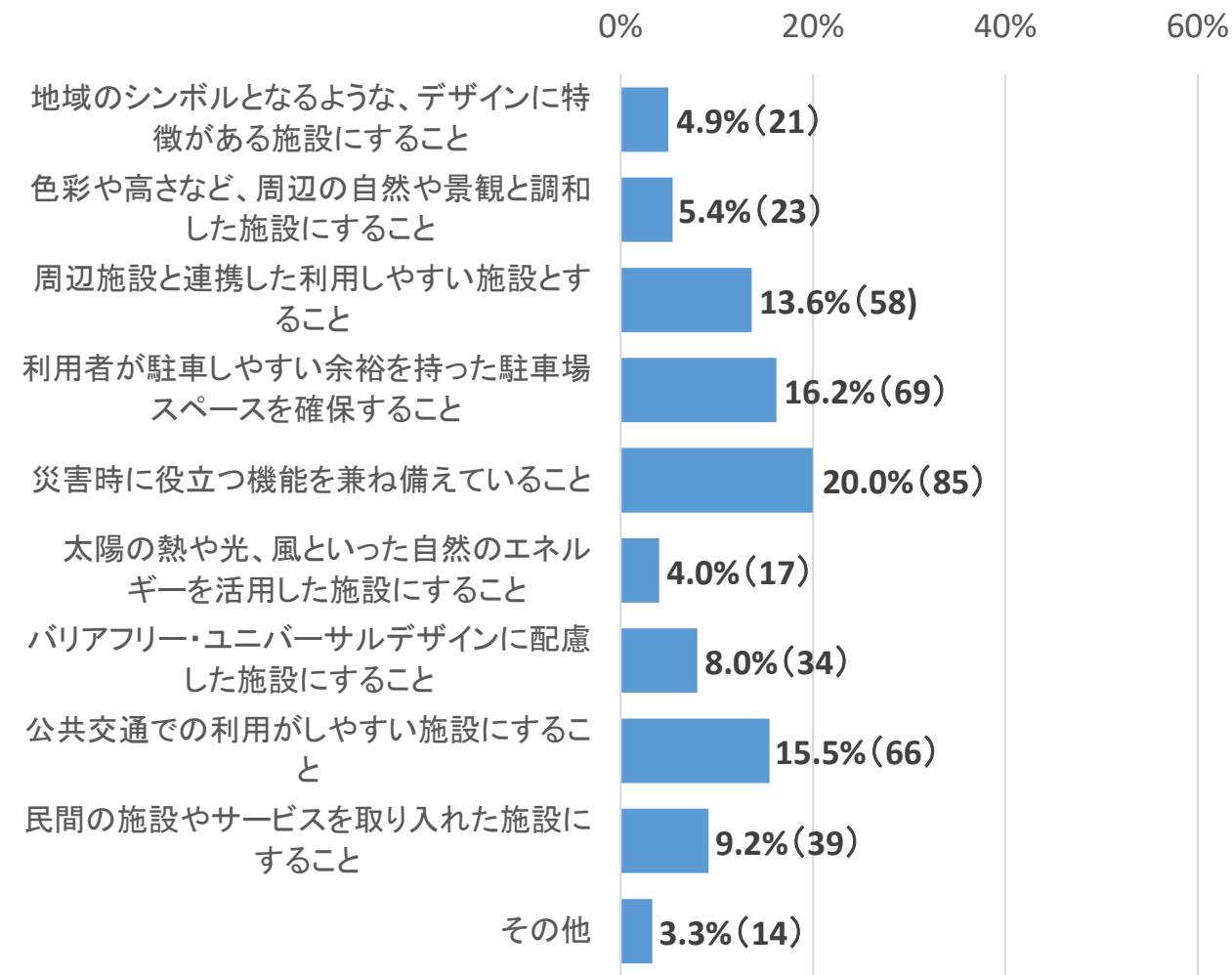


複合化施設の空間イメージ（西地区）



東地区、西地区あまり意識の差は見受けられないが、西地区のみ「地域のシンボルとなるような、デザインの特徴がある施設」の割合が高かった。

複合化施設の工夫（東地区）



複合化施設の工夫（西地区）

